



5月は前期人権学習月間です * 校長講話より(5月13日)

私たちは皆、しあわせになるために生きている

今月は、前期人権教育学習月間です。今日は、人権について話をしたいと思います。先日の生徒総会で承認されたように、今年度の生徒会ではSDGsについて取り組んでいきますが、SDGsの17の目標の中にも、人権に関わる項目がいくつもありますね。

私たちはみな、幸せになるために生きています。そして、他の人を幸せにするために生きています。

差別とは、不合理なもの、理不尽なもの

しかし、私たちの社会には、思いやりの心が薄れてしまい、自分の権利だけを主張することも多く見られます。偏見や差別の問題があります。差別とは、不合理なもの、理不尽なものです。なぜなら、自分の力や努力ではどうにもならないことや、自分に責任のないことで心を深く傷つけられてしまうからです。

例えば、「性別の違い」「年齢の違い」「障がいの有無」「どこで生まれたか」「国籍や肌の色の違い」などの理由で差別する。そんなことは、人として絶対に許されないことです。切り傷や擦り傷は、時間が経てば治りますが、心が深く傷つけられた傷は、簡単に治るものではありません。

昨年からのコロナ禍の中でそのことが今まで以上にみられるようになった面があります。新型コロナウイルス感染症のPCR検査で、陽性になったというだけで、差別を受けた人がいます。そうした差別を少しでもなくすために、県や市町村では、陽性者が出た場所や施設などをあえて公表しないようにしています。けれども、自分の権利や安全だけを主張するためか、「なぜ知らせないんだ」と抗議する人がいます。一方で、従業員などにPCR検査の陽性者が出てしまったので、そのお店などを利用した人に念のため注意してほしい、心配ならPCR検査などを受けてほしいという善意の気持ちで、自ら店名や施設名を公表した人たちがいます。しかし、よかれと思って公表したことで、嫌がらせの電話やメールが届いたり、嫌がらせの張り紙をされたりしたという話は、残念ながらいくつもあります。本当なら、「お大事にしてください。」「早くよくなるといいですね。」と言うべきはずなのですが。

誹謗中傷する人たちは、自分が差別をしていることに気づいていない場合が多い

こうした誹謗中傷などの差別をした人の多くは、自分が差別している、誰かを傷つけていることに気がついていない人だと思います。自分は正しいことをしていると思っての行動ですが、多くの場合、名乗らない匿名で行われます。昨年、私が自分で差別すると知っていて、差別する人と、そんなつもりがなくて、知らないうちに差別する人とどちらの方が罪深いと思いますか?と皆さんに問いかけましたが、誹謗中傷をする人たちは、自分が誰かを傷つけていることに気がついていない場合が多いのです。また、それは、例えば「自分はこんなに我慢しているのに」といった「感情」の面だけに重きがおかれてしまっているせいなのかもしれません。

差別をなくすためには、正しく知ることが大切

では、どうしたらよいのでしょうか?私は、「正しく知ること」だと考えています。「感情」だけではなく、「理性的」「論理的」「科学的」に考え、「正しく知っていく」ことだと思っています。

人権教育について学んでいくことは、大人になっても必要なことです。生きていく上で、最も大切なことの一つだと思っています。授業を通して学ぶことがあるでしょう。また、授業以外の日常生活の中で学んだり、考えたりすることがあるでしょう。ともに考え、そして人権感覚を育てていきましょう。私自身が幸せになるために、そして、他の人を、周りの人たちを幸せにするために。



小中合同授業づくり研修会 4月27日(火)、新しい年度のスタートにあたり、青木小学校と青木中学校の職員が集まって、合同の授業づくり研修会を行いました。一人一台タブレットの活用方法や、よりわかりやすい授業づくりについて等の情報交換をしました。当日は教育長さんも来てくださって、青木村の教育についてお話ししてくださいました。

一人一台タブレットを使った取組が始まっています

昨年度末に一人一台のパソコンが配備され、授業や生徒会での活用が始まっています。4月の生徒会の時間には、全生徒がパソコンを使って、アンケートを実施しました。本年度の生徒会では「SDGs」を中核とした取組を考えています。今回は、「SDGsの視点から、自分の委員会で取り組みたいこと」について全校でアイデアを出し合いました。「節電を心がけて過ごすためのポスターを作りたい」「グリーンカーテンでエアコンの使用を減らす」など多くのアイデアが出されました。一つひとつ活動を具体的にしていってまいります。



自分の委員会で取り組みたいことについて全校でアイデアを出し合いました。「節電を心がけて過ごすためのポスターを作りたい」「グリーンカーテンでエアコンの使用を減らす」など多くのアイデアが出されました。一つひとつ活動を具体的にしていってまいります。

生徒総会で生徒会スローガン決定
「Change the future
～目指せ17の目標～」

昨年度末、村の予算で、普通教室に固定式のプロジェクターをつけていただきました。これまでの大型テレビや電子黒板などと併せ、授業での活用させていただいています。また、理科室の移動式のプロジェクターは教育委員会からお借りしているものですが、中学校でお借りするのにあわせて購入してくださったのだそうです。一人一台のタブレットに、全員分の「すらら」IDなど、ICTに関することだけでも、本当に多くの支援をいただいています。村の方々、子どもの教育にどれだけ心をかけてくださっているかが感じられます。感謝をしながら活用させていただきます。

地域参観日*情報モラル講演会*PTA総会*学年学級PTA

4月30日(金)は今年度初めての地域参観日でした。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった春の地域参観日ですが、今年度は、2週間の健康観察や受付時の検温など、保護者の方々のご協力のもと、実施することができました。ご多用の中、多くの方が来てくださり、多人数になる教室では、密に配慮し、廊下から参観して下さる姿も見られました。参観授業後には南澤先生による「情報モラル講演会」を実施。GIGAスクール構想が進む中、一人一台タブレットの活用を安心・安全に進めるため、生徒、保護者、職員で学ぶことができました。PTA総会や学年学級PTA等も行われ、盛りだくさんの一日でしたが実りある充実した機会となりました。

第1回 漢字道場

5月19日(水)今年度初の「漢字道場」がありました。80点以上で道場破りです。自分の目標点を決めて挑戦している人もいます。全校生徒分の採点をするのは大変なことですが、ここでも地域の方が支えてくださっています。漢字道場のたびに



に学習ボランティアとして、地域から皆さんが来校し、丁寧に採点してくださっています。ありがとうございます。

5月は人権学習月間です

この月間にあわせ各学年で学習が進んでいます。5月18日(火)には、2学年で「車椅子・アイマスク体験」を行いました。車椅子の代わりにキャスター付きの椅子、アイマスク代わりは日本手ぬぐいを使用しました。車椅子の人が一生懸命に指示を出し、アイマスクの人は指示を受けながら車椅子を押し、ペットボトルを倒します。障がいがあったり、苦手なことがあったりしても、お互いの力を一つの力にかえて、普段の生活の中で自然に支え合えることを、体験を通して学ぶことができました。皆それぞれ得意なことと不得意なことがあります。普段の生活でも、互いに支え合い補い合えるよう、大人も子どもも、先生も生徒も関係なく、みんなで学び続けていきたいと思います。



◆◆◆6月の予定◆◆◆予定が変わる際は、オクレンジャーなどでお伝えします。

- | | |
|-----------------------------|------------------------------------|
| 1日(火)小中連絡会 | 15日(火)地域参観日② |
| 2日(水)音楽集会 | 16日(水)内科検診(3年・2A)・分析読解 |
| 3日(木)全校応援練習 | 17日(木)内科検診(1年・2B) |
| 4日(金)献立コンテスト事前学習(2・3年) | 19・20日(土・日)東信大会上小予選(女バレ) |
| 8日(火)県スクールカウンセラー来校 | 23日(水)漢字道場 |
| 10日(木)耳鼻科検診 | 24日(木)プール開き・フッ素塗布 |
| 11日(金)上小予選壮行会 | 26・27日(土・日)中体連東信大会(野球・剣道・男女バレ・女バス) |
| 12・13日(土・日)東信大会上小予選(野球・女バス) | 28日(月)中体連東信大会予備日・計画休業 |
| 14日(月)学校集金換替日 | 30日(水)みんなでゴテラ(翌日1学期末テスト) |

